

# コロナ禍で労災件数大幅減、 死亡事故は前年比2件減の 5件発生



## 支配人会の2020年労働災害実態調査

# 従業員数は減少止まらぬ一方で、 若者の採用少なく 高齢化が進む



日本ゴルフ場支配人会連合会（八木秀夫会長、東京都台東区、☎3851・8405）は先ごろ、2020年（令和2年）1～12月のゴルフ場における労働災害件数及び従業員数を調査し、その結果を明らかにした。

同調査対象は、静岡県を除く全国46都道府県の同連合会加盟1700クラブ（事業所）で、東日本ゴルフ場支配人会連合会（加盟845クラブ）と西日本ゴルフ場支配人会連合会（同855クラブ）の一部非加盟クラブを含む）をそれぞれ集計している。

同調査の集計クラブ数は全国で16クラブ減、増減率では0・93%減少し、東西別では東日本（1都1道15県）が10クラブ減、1・17%減、西日本（2府27県）が6クラブ減、0・70%減となり、これで9年連続の減少を記録した。

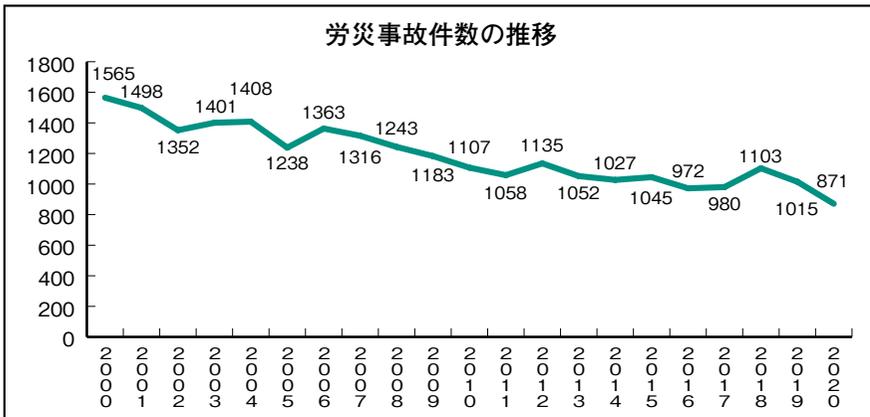
## 2020年の全国労災件数は1015件

調査結果についてみていくと、2020年の1年間の延べ労災件数は871件にのぼ

り、前年の1015件に比べると144件、14・19%減少した。2年振りに減少するとともに、100件を下回った。

労災件数を東西に分けると、東日本が406件で前年比66件減、

労災事故件数の推移



13・98%減、西日本が465件で78件減、14・36%減と、ともに大きく減少している。

2000年代の労災事故件数の推移をみると、2000年の1565件から漸減傾向となり、16年に972件と1000件を割った。17年980件、18年1103件と2年連続で増加し、再び千件台に戻ってしまったが、200年に大きく改善され、3年振りに1000件を下回った。

1クラブ当たりの災害件数は0・51件で、前年に比べ0・08件の減少となっている。東西別では、東日本0・48件(前年比0・07件減)、西日本0・54件(同0・09件減)だった。

### 都道府県別状況は神奈川県が85件が最多、岩手県では労災件数がゼロに

都道府県別の労災状況は、神奈川県の85件(前年77件)をはじめ、千葉県77件(108件)、兵庫県67件(67件)、埼玉県60件(59件)、愛知県56件(58件)、栃木県44件(48件)、福岡県42件(51件)などとなり、都市部またはゴルフ場数の多いところで発生件数が多い傾

向は例年と変わっていない。

千葉県では18年、19年と2年続けて唯一全国で労災件数100件を超えていたが、20年は3年振りに100件を割った。千葉県のこの改善によって、労災件数が100件を超えた都道府県はゼロとなった。

逆に発生件数の少ない順では、岩手県が18年の山形県で記録して以来2年振りとなる労災ゼロとなった。岩手県に続いては秋田県・新潟県・島根県の3県で各1件、青森県・山形県・群馬県・鳥取県で各2件、和歌山県で3件など。労災件数ひと桁は計21件にのぼっている。

群馬県と新潟県は、クラブ数が多く(群馬55クラブ、新潟34クラブ)、従業員数も1000人超(群馬2792人、新潟1699人)だが、毎年ひと桁の労災発生で推移している。

労災件数の前年との比較では、「前年と比較して増加」したのが11県(東日本4県、西日本7県、前年18府県)、「前年と変わらず」が6都県(Ⅱ東日本3都県、西日本3県、前年4道県)、「前年と比較して減少」が29道府県(Ⅱ東日

本10道県、西日本19府県、前年24都道府県)で、前年に比べると減少に傾いている。

### 労災件数が大きく減少する中でも微増の「コース管理」「機械」

続いて、労災の内容についてみていく。

労災発生職業別件数は、「キャディ」が前年に比べ83件減少したものの410件と最も多く、次いで「コース管理」9件増の263件、「その他各部署」55件減の157件となっている。西日本のみで集計している「レストラン」での労災発生は前年比15件減の41件だった。

原因別件数では、滑り・ふみ外し・転倒転落等に起因する「行動」が572件で前年比73件減、カー・コース管理機械車輛等に起因する「機械」が112件で1件増、「打球」が46件で13件減、「その他」が119件で31件減、西日本のみ集計の「通勤」が22件で28件減となった。

前年に比べ事故の発生件数は減っているが、事故件数の内訳で見ると職業別でキャディ、原因別で

行動が突出しているのはこれまで通り変わっていない。

### 重大事故は、死亡事故2件減の5件、永久労働不能及び永久一部労働不能ゼロ

事故の内容についてだが、労災事故は重大事故(死亡、永久労働不能、永久一部労働不能)と、休業災害(30日以上、8日以上、4〜7日、1〜3日)に分かれる。

20年の重大事故をみると、死亡5件(東日本2件、西日本3件)、永久労働不能0件、永久一部労働不能0件の計5件発生している。休業災害は871件だった。

前年は重大事故が死亡7件、永久労働不能3件、永久一部労働不能2件の計12件、休業災害が1003件だったので、前年よりも大幅に改善したことになる。

20年の死亡事故5件は、2000年代では09年、10年、17年と同水準。ここ10年では、19年の7件が最多で、それよりは少ないものの、平均4件で推移している状況となっている。

死亡事故を都道府県別で見ると、北海道、長野県、愛知県、福岡県、熊本県でそれぞれ1件発生してい

# 労働災害実態調査 (2020年1月1日～12月31日)

●東日本

東日本ゴルフ場支配人会連合会

	クラブ数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1コース 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2020年	845	2	0	0	404	406	222	108	76	17	268	53	68	0.48
2019年	855	4	0	0	468	472	250	105	117	36	284	58	94	0.55
増減	-10	-2	0	0	-64	-66	-28	3	-41	-19	-16	-5	-26	-0.07
伸び率	-1.17%	-50.00%	—	—	-13.68%	-13.98%	-11.20%	2.86%	-35.04%	-52.78%	-5.63%	-8.62%	-27.66%	-12.73%

●西日本

西日本ゴルフ場支配人会連合会

	クラブ数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1クラブ 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2020年	855	3	0	0	462	465	188	155	81	29	304	59	51	0.54
2019年	861	3	3	2	535	543	243	149	95	23	361	53	56	0.63
増減	-6	0	-3	-2	-73	-78	-55	6	-14	6	-57	6	-5	-0.09
伸び率	-0.70%	0.00%	-100.00%	-100.00%	-13.64%	-14.36%	-22.63%	4.03%	-14.74%	26.09%	-15.79%	11.32%	-8.93%	-14.29%

●全国

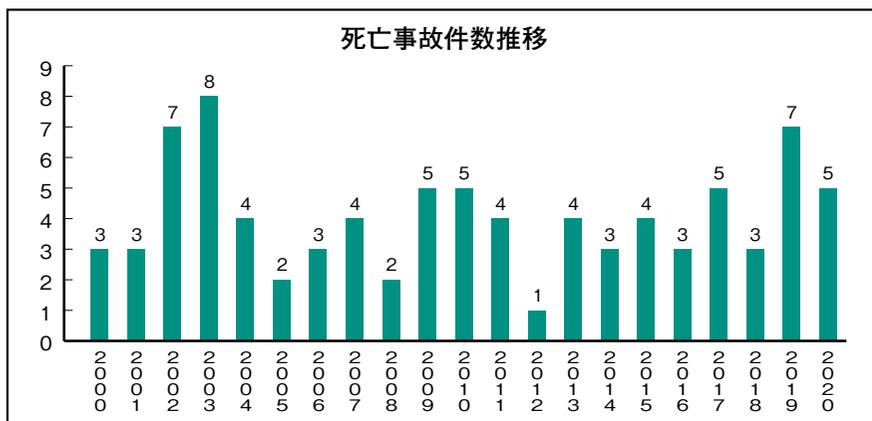
	クラブ数	程度別災害件数					職種別件数			原因別件数				1クラブ 当たり 災害件数
		死亡	永久 労働不能	永久一部 労働不能	休業災害	合計	キャディ	コース 管理	その他	打球	行動	機械	その他	
2020年	1,700	5	0	0	866	871	410	263	157	46	572	112	119	0.51
2019年	1,716	7	3	2	1,003	1,015	493	254	212	59	645	111	150	0.59
増減	-16	-2	-3	-2	-137	-144	-83	9	-55	-13	-73	1	-31	-0.08
伸び率	-0.93%	-28.57%	-100.00%	-100.00%	-13.66%	-14.19%	-16.84%	3.54%	-25.94%	-22.03%	-11.32%	0.90%	-20.67%	-13.56%

注・程度別災害件数＝「永久労働不能」は障害等級1～3級のもの、「永久一部労働不能」は障害等級4～14級のもの、原因別件数＝「行動」は滑り・ふみ外し・転倒転落等の行動に起因する災害件数、「機械」はカート・コース管理機械車輛等に起因する災害件数、※西日本のみ集計＝職種別件数「レストラン」41件（前年比15件減）、原因別件数「通動」22件（前年比28件減）

原因の内訳は、コース管理中の事故が4件、通勤中の事故が1件で、いずれの事故も50歳以上の従業員だった。コース管理中の事故のうち3件は、作業車や作業機械の下敷きになるケースだった。あとの1件は木の伐採に伴う事故で、側溝に板を渡して高枝の伐採作業をしている最中に板を踏み外し、2メートル強の側溝に転落し死亡したという。

一つひとつの作業だけみると、決して危険なものではない。だが、斜面や法面、側溝などといった場所で作業すると、危険になってくる。平時の操作に狂いが生じてくる可能性が高まるからだ。毎日作業をしているのだから、そのくらいは当然わかっているはず。しかし、一瞬の動作や判断ミスが命取りとなってしまう。痛ましい事故が起きないように、作業従事者に

死亡事故件数推移



は毎日新たな気持ちで臨んでもらいたい。

死亡事故ばかりではなく、怪我の軽重に関わらず事故は撲滅しなければならぬ。事故ゼロ、死亡ゼロが当たり前となる環境作りを、

ゴルフ業界挙げて取り組む必要があるし、労災ゼロの意識を常に持つことも大切である。

**人の動きが少なければ、それだけ事故は減る**

2020年の労災事故は、これまで見てきた通り、件数や重大事故が大きく減って（改善して）いる。その要因について、東日本ゴルフ場支配人会連合会労働安全衛生委員会の岡本豊委員長（千葉夷隅ゴルフクラブ総支配人）に聞くと、「新型コロナウイルスの影響で大手ゴルフ場企業のゴルフ場を中心に長期にわたり休業したこと、また、営業するゴルフ場では、レストランや浴室を使わずにセルフスループレーとしたところが多かったことですね」と話す。

人の動きと事故は比例する。そして、人が動く限り事故はなくなる。しかし、人は事故をゼロにするようには行動しなければならぬ。

死亡など重大事故につながる可能性が高いのは、芝刈り機などの機械の使用、それから樹木の伐採、剪定で、それら作業には常に危険予知と細心の注意を払わねばならぬ。

岡本豊委員長



ない。

他の作業でも、ちょっとした気の緩みや不注意から思わぬ事故になりかねない。その中で特に気を付けるべき事故と注意ポイントを岡本委員長に聞いた。

●脚立作業

「クラブハウス内の高い場所をメンテナンスする時などで、1人で脚立にあがり作業している最中に何らの原因で脚立から転落する事故もけっこうあります」

特にお風呂場で窓ガラスを拭くなどの作業をする場合。床が滑りし水気がある可能性もあるので要注意とのことだ。2人、それ以上で行えば、仮に事故が起ったと

しても何らかの対処ができる。単独作業だと一つの事故が深刻になるケースも出てくる。

「1人での作業は絶対にダメです。補助者がいれば、万が一の時でも助けられます。当クラブの周辺ゴルフ場では、脚立を使う場合には脚立使用許可書の提出を求めています。どんな作業のために脚立を使うのか、補助者は誰かを記し、上司の判子をもらってからの使用となります。こうするだけでも事故防止に効果があります」

脚立を使用するのに許可申請なんて必要か？と思われるだろうが、これは形式的な手続きではなく、2人での作業を徹底させるため、事故を予防するための注意喚起であり、決して大袈裟ではない。

●厨房内の転倒や滑り

転倒や滑りと聞くと、コースでキャディが斜面などで転倒或いは滑りを想像しがちだが、ハウス内でも転倒、滑りは多いという。

「外部から見えないところでは、厨房内での滑り、転倒もあります。ランチタイムなど忙しい時に、お料理を作る過程で床に油をこぼし、そのままにしておいたため転倒するケースです。厨房での作業に適

したシューズを履いていても、滑りや転倒は避けられません」

床に油がこぼれているのを見つけたのは難しい。ましてや忙しい時は作業に集中するから、回りをみている余裕すらない。作業中に油を床にこぼしてしまつたら速やかに水を流す。それだけでも滑りにくくなるという。そして、油をこぼしたところあるから、気を付けて！」などと厨房内の従業員に一言知らせることも大切ではないだろうか。

●木の伐採における蔓（つる）

ゴルフ場での死亡事故で、機械に次いで多いのが、木の伐採中に転落あるいは下敷きだが、OB区域で剪定されていない雑木を伐採する時に、蔓（つる）によって思わぬ事故が起きかねないという。

木を伐採する際は、チェーンソーを使って、受け口を作り、次に追い口を切り込む。すると、受け口側に木が倒れる。ところが、伐採しようとする木の周囲に、あると目論見通りにいかず、退避していても倒れた木に直撃してしまうケースもあるそうだ。

「木の上の方でつるがある場合、倒れた木がつるのクッションによ

つて予想もつかない方向に倒れる  
 ことがあります。倒木の重みでも  
 ちぎれないほど、つるは非常に強  
 韌です。枯れても強韌です」

つるがそこまで厄介だなんて、  
 林業の知識がない限りわからない。  
 安全に木を伐採するためには、つ  
 るの存在を見逃さず、対処する  
 ことだ。つるの対処方法は、とに  
 かく、つるを切る。つるがあ  
 りそうなエリアの木を伐採する場  
 合は、事前にその木やその周辺に  
 つるがないかを確認し、見つけた  
 ら切ることを心がけたい。

## JGGAがゴルフコース管理作 業での死亡事故防止を要請

今年6月9日、神奈川県内のゴ  
 ルフ場で木の伐採作業中に高所作  
 業車が高圧線に接触して男性作業  
 員2名が感電死する事故が発生し、  
 テレビや新聞報道で大きく報じら  
 れた。また、同事故に前後して茨  
 城県、福島県でも各1件、ゴルフ  
 場内での死亡事故が相次いで発生  
 した。この状況を受けて公益財団  
 法人・日本ゴルフ協会（JGGA）  
 は7月6日にホームページ上で、  
 「ゴルフコース管理作業における  
 死亡事故の防止について」として

「ゴルフ場事業者各位におかれま  
 しては、安全管理体制を見直す  
 とともに、事故防止に努めていた  
 きたく、お願いする次第でござい  
 ます」と表明している。

岡本委員長によると、東日本ゴ  
 ルフ場支配人会連合会加盟クラブ  
 での今年の労災事故は、第1期（1  
 ～3月）と第2期（4～6月）が  
 前年より件数が増えたという。昨



JGGAがホームページに載せた「労働災害等の防止対策の一例（参考）」（左）と「ゴルフ場の事業における労働災害防止のためのガイドライン」

年の緊急事態宣言時のような休業  
 がなかったため、その反動から事  
 故が増えているものだが、第3期  
 （7～9月）には是正されて件数  
 が減少してきているようだ。  
 「ゴルフ場はハウス、コースあら  
 ゆるところに危険が潜んでいると  
 いえます」

ここで言う危険は、作業の危険  
 ではなく、作業で一つ間違えると  
 重症化、重大事故につながる危険  
 である。

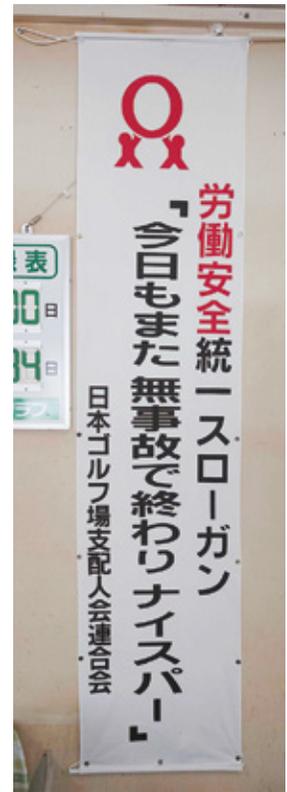
その危険を回避するにはどうし  
 たらよいか、千葉夷隅GCを例に  
 取ると、従業員が目にするところ  
 に、日本ゴルフ場支配人会連合会  
 が作成した「今日もまた無事故で  
 終わりナイスパー」の労働安全統  
 一スローガンののほりや、「無災害  
 記録表」のボードなどを掲示し、  
 従業員に危険を回避する意識を常  
 に持たせている。

無災害記録表は、無災害の目標  
 日数を「3000日」と設定し、  
 その下に無災害の日ちがわかる  
 ようになっている。3000日（8  
 年80日）は長いと感じるが、無災  
 害の日がカウントアップされてい  
 くとつれて、その数字を途絶えさ  
 せたくないから今日も一日作業に

無災害記録表によって、わたしたちはこま  
で無災害で業務を行っているのだという意識  
と、目標まではなんと少しでも無災害にとい  
う意識が働く



気を付ける意識が働く。無災害記  
録表に限らず、行動するにあたっ  
て数値目標がどれほど有効か、改  
めて例を挙げるまでもないだろう。



また、共通認識の確認ツールとし  
ても最適だ。

過去には4000日強まで無災  
害を継続したこともあるそうが、

無災害3000日を到達した際  
に従業員に労いの何かがあった  
のか聞いたところ「また新たに  
3000日に向けてスタートし  
ただけです」(岡本委員長)

**ゴルフ場従業員数2年連続  
減、西日本での落込み大き  
く、都道府県別では千葉、  
兵庫の順も1万人を割る**

日本ゴルフ場支配人会連合会  
の労働災害実態調査では、ゴル  
フ場従業員数も集計している。

2020年のゴルフ場従業員  
(キャディ・臨時雇用・パート  
を含む)の数は、全国1700  
コースで10万7994人にのぼ  
った。

東西別では、東日本は5万31  
38人、西日本は5万4856人。  
前年との比較では、東日本470  
人減、0・87%減、西日本222  
6人減、3・96%減、全体では2  
696人減、2・44%減となった。  
東日本は微減だが、西日本ではや  
や落込みが大きくなっており、東  
西とも2年連続で従業員数が減っ  
ている状況だ。

1コース平均の従業員数を算出  
すると63・53人となり、前年に比  
べ0・98人、1・52%の減少。18  
ホールで換算(総ホール数3万6  
091ホール)すると53・86人で、  
前年比0・66人、1・21%の減少  
だった。

都道府県別従業員数では、「前年  
と比較して増加」は東日本5都県、  
西日本5県の計10都県(前年は15  
都県)、「前年と変わらず」は東日  
本3県、西日本ゼロの計3県(5  
道県)、「前年と比較して減少」は  
東日本9道県、西日本24府県の計  
33道府県(26府県)と、減少傾向  
が強まった。

従業員数トップは2年連続で千  
葉県となり、前年に比べ592人  
減の9599人だった。2位は昨  
年と同じく兵庫県で前年比801

人減の9348人。千葉県、兵庫  
県は前年まで1万人を超えていた  
が、2020年ではともに1万人  
を割った。3位以下は茨城県64  
32人(前年比77人増)、北海道  
6178人(214人減)、栃木  
県5371人(391人増)、埼  
玉県5180人(279人増)、神  
奈川県4855人(前年と同)な  
どと続き、上位陣は大都市圏及び  
クラブ数の多いところで占めてい  
る。逆に最も少なかったのは島根  
県の225人(3人増)となつて  
おり、従業員500人未満は計6  
県、1000人未満では計17県に  
のぼった。

前年との増減率で見ると、最も  
増加したのは栃木県の7・85%増、  
最も減少したのは沖縄県の13・36  
%減だった。

**若手の採用難、運営面でも中  
高年齢層に支えられている現  
状**

従業員数が全国的に減少してお  
り、こちらもやはり新型コロナウイルスの  
影響が原因かと思えば、そればか  
りではないようだ。2020年に  
目立って減少した西日本ゴルフ場  
支配人会連合会で労働安全衛生委

員会の委員長を務める佐藤浩市城陽カントリー倶楽部支配人に話を聞くと、「従業員数が少なくなっているのは、新卒など若手の採用難が響いて」いるのだという。

新卒などの若手がゴルフ場においてイメージを持っているのは、わからぬ。朝が早い、拘束時間が長い、重労働——とでも思っているのだろうか。それはともかく、今、若手の人手不足をカバーする存在なのが、セカンドキャリアとして就職する中高年齢層だ。

佐藤委員長によると、60代以上の人がゴルフ場に就職してくるケースが多いという。ゴルフ場入場者だけでなく、ゴルフ場運営も高年齢層に支えられている現状なのだが、社会人になり、がむしゃらに働いて、定年を迎え、大好きなゴルフを職業にしようとゴルフ場に就職することは素晴らしいこと。そういう人たちだからこそ、日々の業務も懸命なのだそうだ。高齢者雇用の観点からすれば、それはよいことなのだが、このまま中高年齢層が中心となってしまうのは、将来的にはゴルフ場事業が先細りしてしまう懸念がある。

新型コロナウイルスの影響で生活スタイル

ルがガラッと一変してしまっただが、そのような中でゴルフは3密を回避する健康スポーツであることが再認識され、ゴルフをしたことがなかった若い人がゴルフをするようになってきている。この流れを取っ掛かりに、これまで対策に手をこまねいていた新卒採用に弾みをつけたところだ。そして、「農業や林業など様々な職種で進んでいる外国人労働者の受入れを、ゴルフ場業界も早く対応していかねければならないと思います」（佐藤委員長）

最後に、従業員の高齢化で気を付けなければならないことがある。労災事故だ。

これまでなら軽傷で済んでいたものが、重症化してしまうケースがあるのだという。2020年の死亡事故は、先に書いた通り全員年齢が50歳以上となっている。体力が低下している、判断能力が鈍っているのに、それを認識しないで作業に臨んでしまっているのだろう。作業中に持病が発症してしまうことも考えられる。高齢の従業員には、作業前の丹念な準備運動、こまめな健康チェックがより重要といえる。

## プラ擬木 目土箱



おかげさまで  
**55**  
周年

**M-7**  
内寸：700x700x510

### ティーインググラウンド用



**C52**  
内寸：300x220x120



**C53**  
内寸：280x390x150



**C51**  
内寸：470x470x500

創業 昭和41年 ゴルフ場サインメーカー

—資料請求先—

**ヤマグチ工芸** 〒241-0823 神奈川県横浜市旭区善部町90-5  
<http://www.yamaguchi-kg.com>

**TEL 045-391-3667**  
**FAX 045-391-3677**

労働災害実態調査

	2020年			2019年			増減			20年1クラブ平均		19年1クラブ平均		20年 当たり 労働災害 件数 100人	19年 当たり 労働災害 件数 100人
	クラブ数	労働災害 件数 (人)	従業員 数	クラブ数	労働災害 件数 (人)	従業員 数	クラブ数	労働災害 件数 (人)	従業員 数	労働災害 件数 (人)	従業員 数	労働災害 件数 (人)	従業員 数		
北海道	107	32	6,178	105	40	6,392	2	-8	-214	0.30	57.7	0.38	60.9	0.52	0.63
青森	11	2	481	11	3	490	0	-1	-9	0.18	43.7	0.27	44.5	0.42	0.61
岩手	18	0	719	18	2	719	0	-2	0	0.00	39.9	0.11	39.9	0.00	0.28
秋田	14	1	443	14	4	470	0	-3	-27	0.07	31.6	0.29	33.6	0.23	0.85
宮城	27	9	1,243	27	15	1,296	0	-6	-53	0.33	46.0	0.56	48.0	0.72	1.16
福島	24	6	1,124	26	1	1,175	-2	5	-51	0.25	46.8	0.04	45.2	0.53	0.09
山形	10	2	336	10	3	336	0	-1	0	0.20	33.6	0.30	33.6	0.60	0.89
新潟	34	1	1,699	34	6	1,679	0	-5	20	0.03	50.0	0.18	49.4	0.06	0.36
群馬	55	2	2,792	58	2	2,907	-3	0	-115	0.04	50.8	0.03	50.1	0.07	0.07
栃木	104	44	5,371	104	48	4,980	0	-4	391	0.42	51.6	0.46	47.9	0.82	0.96
茨城	107	26	6,432	106	48	6,355	1	-22	77	0.24	60.1	0.45	60.0	0.40	0.76
千葉	113	77	9,599	119	108	10,191	-6	-31	-592	0.68	84.9	0.91	85.6	0.80	1.06
埼玉	63	60	5,180	63	59	4,901	0	1	279	0.95	82.2	0.94	77.8	1.16	1.20
東京	16	30	1,895	16	30	1,864	0	0	31	1.88	118.4	1.88	116.5	1.58	1.61
神奈川	51	85	4,855	51	77	4,855	0	8	0	1.67	95.2	1.51	95.2	1.75	1.59
山梨	36	19	2,269	38	16	2,382	-2	3	-113	0.53	63.0	0.42	62.7	0.84	0.67
長野	55	10	2,522	55	10	2,616	0	0	-94	0.18	45.9	0.18	47.6	0.40	0.38
東日本計	845	406	53,138	855	472	53,608	-10	-66	-470	0.48	62.9	0.55	62.7	0.76	0.88
愛知	54	56	4,761	54	58	4,763	0	-2	-2	1.04	88.2	1.07	88.2	1.18	1.22
岐阜	71	37	4,529	71	42	4,758	0	-5	-229	0.52	63.8	0.59	67.0	0.82	0.88
三重	54	19	3,984	56	23	4,088	-2	-4	-104	0.35	73.8	0.41	73.0	0.48	0.56
福井	10	5	413	10	2	450	0	3	-37	0.50	41.3	0.20	45.0	1.21	0.44
石川	23	9	1,220	23	14	1,186	0	-5	34	0.39	53.0	0.61	51.6	0.74	1.18
富山	15	6	971	15	8	973	0	-2	-2	0.40	64.7	0.53	64.9	0.62	0.82
大阪	29	18	3,399	29	22	3,450	0	-4	-51	0.62	117.2	0.76	119.0	0.53	0.64
滋賀	29	14	2,243	29	16	2,288	0	-2	-45	0.48	77.3	0.55	78.9	0.62	0.70
京都	25	7	1,926	24	15	2,018	1	-8	-92	0.28	77.0	0.63	84.1	0.36	0.74
奈良	30	27	2,439	30	24	2,466	0	3	-27	0.90	81.3	0.80	82.2	1.11	0.97
和歌山	15	3	649	17	7	714	-2	-4	-65	0.20	43.3	0.41	42.0	0.46	0.98
兵庫	135	67	9,348	136	67	10,149	-1	0	-801	0.50	69.2	0.49	74.6	0.72	0.66
鳥取	8	2	324	8	2	334	0	0	-10	0.25	40.5	0.25	41.8	0.62	0.60
島根	7	1	225	7	3	222	0	-2	3	0.14	32.1	0.43	31.7	0.44	1.35
岡山	35	13	1,827	36	18	1,962	-1	-5	-135	0.37	52.2	0.50	54.5	0.71	0.92
広島	42	17	1,919	42	14	2,105	0	3	-186	0.40	45.7	0.33	50.1	0.89	0.67
山口	22	8	1,183	22	8	1,362	0	0	-179	0.36	53.8	0.36	61.9	0.68	0.59
愛媛	19	4	901	19	7	918	0	-3	-17	0.21	47.4	0.37	48.3	0.44	0.76
香川	17	6	880	17	11	932	0	-5	-52	0.35	51.8	0.65	54.8	0.68	1.18
徳島	12	7	543	12	6	532	0	1	11	0.58	45.3	0.50	44.3	1.29	1.13
高知	10	8	616	11	18	644	-1	-10	-28	0.80	61.6	1.64	58.5	1.30	2.80
福岡	48	42	3,437	48	51	3,501	0	-9	-64	0.88	71.6	1.06	72.9	1.22	1.46
佐賀	15	11	878	15	12	936	0	-1	-58	0.73	58.5	0.80	62.4	1.25	1.28
長崎	21	8	831	21	15	842	0	-7	-11	0.38	39.6	0.71	40.1	0.96	1.78
大分	19	12	805	19	10	807	0	2	-2	0.63	42.4	0.53	42.5	1.49	1.24
熊本	34	15	1,428	34	13	1,407	0	2	21	0.44	42.0	0.38	41.4	1.05	0.92
宮崎	17	26	1,010	18	40	1,041	-1	-14	-31	1.53	59.4	2.22	57.8	2.57	3.84
鹿児島	25	11	1,311	25	13	1,246	0	-2	65	0.44	52.4	0.52	49.8	0.84	1.04
沖縄	14	6	856	13	4	988	1	2	-132	0.43	61.1	0.31	76.0	0.70	0.40
西日本計	855	465	54,856	861	543	57,082	-6	-78	-2,226	0.54	64.2	0.63	66.3	0.85	0.95
合計	1,700	871	107,994	1,716	1,015	110,690	-16	-144	-2,696	0.51	63.5	0.59	64.5	0.81	0.92

調査：東日本ゴルフ場支配人会連合会、西日本ゴルフ場支配人会連合会。従業員数はキャディ、臨時雇、パートを含む。西日本支配人会では平成27年から従業員数に委託、派遣社員の労働者を含む。西日本の表では従業員と非従業員(委託、派遣等)に分けて集計しているが本誌では合計人数で表示している。